



慶應義塾大学ビジネス・スクール

日本クリニックラウン協会 – 「こども時間」 を届ける

5

クリニックラウン (clinicclowns)、それは病院というクリニック (clinic) と道化師というクラウン (clown) の合成語であり、臨床道化師と呼ばれている。今日も、クリニックラウンは、入院生活を送る子どもの病室を訪問し、遊びやコミュニケーションを通して、子どもたちの成長をサポートし、笑顔を育んでいる。

10

図1 クリニックラウンの概念



15

20

25

本ケースは、クラス討議の資料とするために、慶應義塾大学大学院経営管理研究科井上哲浩教授によって、クラス討議の基礎資料として作成されたものであり、経営上の巧拙を記述したものではない。また本ケースの作成にあたって、特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会事務局長兼アーティストティック・ディレクター塚原成幸クリニックラウン様、同事務局熊谷恵利子クリニックラウン様、柴田俊久クリニックラウン様、佐々木舞クリニックラウン様、中野朋恵クリニックラウン様、大沢洋平クリニックラウン様、日野由絵クリニックラウン様、王子ネピア株式会社マーケティング部長今敏之様、ドゥ創造性研究所所長高橋定孝様より協力を得た。感謝の意を表したい。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 井上哲浩（2012年1月作成）